

(様式4)

令和3年3月1日

富山県教育委員会教育長 殿

富山県立高岡工芸高等学校  
校長 篠原 俊一郎

令和2年度学校総合評価を別紙(様式5)とともに提出します。

## 令和2年度 学校総合評価

### 6 今年度の重点目標に対する総合評価

- ① 学習活動  
基礎学力の定着と授業改善の推進
  - ・基礎力診断テストの実施と分析 . . . . . C
  - ・公開授業の実施と授業見学・互見授業 . . . . . B
  
- ② 学校生活  
基本的な生活習慣の確立と危機管理能力の育成
  - ・ネットパトロールの報告件数の削減 . . . . . A
  - ・交通事故件数の削減 . . . . . D
  
- ③ 進路支援  
生徒各人が学習生活をとおり、よりよい勤労観・職業観を身に付け、主体的に  
進路を選択し決定できる力をはぐくむ
  - ・3学年生徒の進路指導室延べ利用回数 . . . . . D
  - ・就職希望者第一次選考で不合格者数(民間) . . . . . A
  
- ④ 学校生活  
学校行事および部活動の充実
  - ・主たる行事において満足と回答する生徒の割合 . . . . . D
  - ・部活動変更生徒数 . . . . . A
  
- ⑤ P T A活動の活性化  
P T A役員会とP T A行事の活性化
  - ・P T A役員会への出席率 . . . . . D
  - ・P T A行事への参加者数 . . . . . A

### 7 次年度へ向けての課題と方策

- ① Aと評価した事項に関しては、引き続き実施方法を継続させ、また新たな課題を設定し、その事項達成に向けた体制を構築する。
- ② Bと評価した事項に関しては、設定条件を再考し、その事項達成に向けた体制を強化する。
- ③ Cと評価した事項に関しては、達成できなかった原因を解明し、次年度達成を目指す条件整備を行う。
- ④ Dと評価した事項に関しては、達成目標の設定が適切なのかを再検討するとともに、達成できなかった原因を解明し、次年度達成を目指す条件整備を行う。